【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成29年３月10日
【会社名】	株式会社ユビキタス
【英訳名】	Ubiquitous Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長　　佐野　勝大
【本店の所在の場所】	東京都新宿区西新宿一丁目21番１号 明宝ビル６階
【電話番号】	03-5908-3451
【事務連絡者氏名】	常務取締役　管理本部長　　長谷川　聡
【最寄りの連絡場所】	東京都新宿区西新宿一丁目21番１号 明宝ビル６階
【電話番号】	03-5908-3451
【事務連絡者氏名】	常務取締役　管理本部長　　長谷川　聡
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町２番１号）

1【提出理由】

平成29年３月３日開催の当社取締役会において、株式会社エーアイコーポレーションに対して、同社の発行済株式の全てを取得し、子会社化することに関する基本合意書を、同社株主との間で締結することを決議いたしましたので、金融商品取引法第24条の５第４項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第２項第８号の２の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

(1) 取得対象子会社の商号、本店の所在地、代表者の氏名、資本金の額、純資産の額、総資産の額及び事業の内容

① 商号　　：株式会社エーアイコーポレーション
② 本店の所在地：東京都品川区西五反田２－25－２　飯嶋ビル３Ｆ
③ 代表者の氏名：代表取締役社長　　加藤　博之
④ 資本金　　：50,000千円
⑤ 純資産の額　：324,774千円
⑥ 総資産の額　：494,728千円
⑤ 事業の内容　：海外ソフトウェアの輸入販売及びテクニカルサポート・カスタマイズ開発

(注).資本金、純資産の額、総資産の額は、平成28年10月31日時点のものであります。

(2) 取得対象子会社の最近３年間に終了した各事業年度の売上高、営業利益、経常利益及び純利益

(単位：千円)

決算期	平成26年10月期	平成27年10月期	平成28年10月期
売上高	1,188,504	1,210,588	1,230,995
営業利益	81,417	102,080	97,813
経常利益	90,250	103,814	98,621
当期純利益	37,798	64,664	64,403

(3) 取得対象子会社の当社との間の資本関係、人的関係及び取引関係

資本関係　当社と取得対象子会社との間には、記載すべき資本関係はありません。
また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき資本関係はありません。

人的関係　当社と取得対象子会社との間には、記載すべき人的関係はありません。
また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき人的関係はありません。

取引関係　当社と当該会社との間には、事業提携に関する契約を締結しております。
また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき取引関係はありません。

(4) 取得対象子会社に関する子会社取得の目的

当社は、創業以来、自社開発の組込みソフトウェア製品をライセンス販売による収益獲得をビジネスモデルとしております。また、組込みソフトウェア製品との連携で、IoT向けソリューションを実現する、クラウドプラットフォームの展開を進めております。

昨今では、IoTの普及に伴い、組込み機器側で通信機能を搭載するニーズが非常に高まっており、機器や目的に応じて様々な通信規格の通信機能が搭載されてきています。また、通信機能付機器の普及とともに、セキュリティ機能搭載のニーズが高まっております。このように、IoTの普及により、様々な通信規格への対応、セキュリティ技術への対応など、当社の会社規模では、広範囲に自社開発製品のみで展開することは効率的ではないと判断し、自社製品の付加価値を高めることができる他社製品のOEM提供も含めた製品ラインナップの拡充も行っております。例えば、スマートエネルギー・スマートホーム分野では、当社のWi-FiやECHONET Lite規格製品との組み合わせによるソリューション販売などで収益化を実現しております。

取得対象子会社である株式会社エーアイコーポレーションは、国内では数少ない国外の組込みソフトウェアベンダーの製品を取り扱う専門商社であり、Bluetooth、BIOS等の、当社が必要とする、現時点で保有していない製品を多く取り扱っております。

そのため、製品ラインアップの拡充のみならず、当社製品との組み合わせによるソリューション販売展開が可能となると同時に、株式会社エーアイコーポレーションの販路を活用した当社製品の拡販による収益拡大も見込むことが出来ます。

また、Ubiquitous QuickBootを中心に、海外顧客での採用、引き合いが増加しており、収益拡大の機会として、海外市場開拓が非常に重要となります。当社においてもシリコンバレーに先端技術の調査を目的としたリサーチ活動は行ってまいりましたが、海外での営業拠点は有しておりません。組込みソフトウェアの場合、技術サポートもあわせて提供する必要があり、短期間での海外販路の確保は難しいところ、株式会社エーアイコーポレーションのパートナーである海外組込みソフトウェア企業を中心とした販路・技術サポートの活用により、海外販路の確保が可能となります。

株式会社エーアイコーポレーションは、取扱製品のカスタマイズやサポートも自社で対応しておりますが、製品販売への注力により、関連する受託開発取引に関しては、エンジニア確保も容易ではないため、積極的に取り組んでいない状況にあります。また、製品販売面においても、案件獲得強化には、専門知識を有する経験豊富な人材が必要となります。

この点、今回の子会社化により、当社製品および両社の製品シナジーによる新規顧客開拓、当社の専門的知識を有するエンジニアの活用、当社子会社の株式会社エイムの受託開発機能の活用などをグループとして取り組む事で実現し、製品ラインアップ拡充、案件獲得体制強化、受託開発取引獲得の増加を期待しております。

当社では、自社開発したIoTプラットフォームの事業展開として現在、電力小売自由化や、ガス小売自由化といった新しいエネルギーマネジメント市場向けに展開を進めております。これらの市場にビジネスチャンスは見出しているものの、IoT関連事業においては投資先行が継続しており、収穫期に至っておらず収益化までは、もう少し時間を要するものと考えております。

この点で、株式会社エーアイコーポレーションは、弊社事業の基盤である組込みソフトウェア事業において、安定した収益基盤を構築しており、豊富な製品ラインアップと販路・海外パートナーとの関係などによる、グループとなることで生じるシナジーもあわせて、当社グループ全体の事業拡大並びに収益の安定化に貢献して頂けるものと期待しております。

(5) 取得対象子会社に関する子会社取得の対価の額

株式取得価額及び対価の支払方法等については、今後協議のうえ決定いたします。

取得価額等に関する協議の結果につきましては、決定次第報告いたします。

以　上